

今週のお祈り 大齋節第2主日特禱

全能の神よ、わたしたちには自ら  
を助ける力のないことをあなたは  
知っておられます。どうか外は体を  
損なうすべての災いを防ぎ、内は  
魂を襲う悪念を除いてください。  
主イエス・キリストによってお願い  
いたします。アーメン



日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 にちようがっこう  
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1  
でんわ：03-3710-6031

号外241

発行日  
2025年  
3月16日

十字架の道行き。それはご自分の命が失われても、すべての人々のために、神様が計画された救いの業を最後まで果たそうとイエスさまが歩まれた道です。大齋節の間、十字架上のイエスさまを仰ぎつつ祈りましょう。



今週の聖書 ルカによる福音書 13・31～35

31 ちようどその時、ファリサイ派の人々が何人か近寄って来て、イエスに言った。「ここを立ち去ってください。ヘロデがあなたを殺そうとしています。」32 イエスは言われた。「行って、あの狐に、『私も今日も明日も三日目も、悪霊を追い出し、癒やしを行うことをやめない』と伝えよ。33 ともかく、私は、今日も明日も、その次の

日も進んで行かねばならない。預言者がエルサレム以外の所で死ぬことは、ありえないからだ。34 エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、自分に遣わされた人々を石で打ち殺す者よ、めんどりが雛を羽の下に集めるように、私はお前の子らを何度集めようとしたことか。だが、お前たちはお前たちは応じようとしなかった。35 見よ、お前たちの家は見捨てられる。言っておくが、お前たちは、『主の名によって来られる方に、祝福があるように』と言った時が来るまで、決して私を見ることはない。」

聖書からのメッセージ

執事 高柳 章江

大齋節は、イースターを迎える前に、イエスさまの受けた「十字架にかかる」という苦しみを感じる時期です。教会では、とくに私たち自身の信仰をふりかえったり、謙虚に過ごすことを大切にします。今日の福音書の中で、イエスさまは「めんどりが雛を羽根の下に集めるように、私はお前の子らを何度集めようとしたことか。だが、お前たちはお前たちは応じようとしなかった」と嘆いておられます。神さまがせっかく私たちを神さまのもとに導こうとしているのに、私たちがその導きに気づかなかったり、その導きよりも自分のことを優先させてしまいがちです。だからこそ、私たちはいつでも、私たちの信仰が神さまのみ旨にかなっているかどうかを確認しなければなりません。